

2 交通局平成28年度の予算編成について

(1) 基本的な考え方

市営交通事業は、市バス・地下鉄の一体的なネットワークにより、市内全域で、安全・安心で快適な交通サービスを提供し、1日約157万人のお客様にご利用いただくなど、市民・利用者の皆さまの日常生活を支える重要な役割を果たしています。

平成28年度は、平成27年11月策定の「名古屋市営交通事業経営計画(2015-2018)」の理念である『SAFETY&CHALLENGE』に沿って、安全・安心な運行を最大の使命としつつ、時代の変化を先取りし、常に課題に対して積極的にチャレンジすることで、より質の高いサービスを提供するとともに、収入増加方策などによる経営基盤強化に取り組み、市民・利用者の皆さまから信頼される市バス・地下鉄をめざします。

(2) 主要事項

①安全・安心な市バス・地下鉄

最重要課題である安全運行の確保については、事故防止、運行ミス防止、コンプライアンスの推進に取り組み、お客さまの信頼の回復に努めます。

また、お客さまの安全・安心を守るため、名城線・名港線可動式ホーム柵の整備、南海トラフ巨大地震をはじめとした災害に対する地下鉄構造物等の耐震対策や地下鉄施設の浸水対策、バス停留所施設の整備・改修や地下鉄電気設備の更新をはじめとした老朽化対策などを着実に実施します。

②快適で魅力ある市バス・地下鉄

子ども、女性、高齢者、障害者、外国人、観光客など利用者特性にあわせ、わかりやすい案内サインを整備するなど、誰もが利用しやすい快適で魅力ある市バス・地下鉄の環境づくりを進めます。

③収入増加方策などによる経営基盤強化

外国人観光客への情報提供や地域・他事業者と連携した施策など効果の高い利用促進策を実施するとともに、伏見駅における駅ナカビジネスをはじめとした市バス・地下鉄の強みを活かした附帯事業の積極的な推進などにより収入増加を図ります。

また、コスト縮減に向けた取り組みとして、市バスの民間への管理委託の拡大や地下鉄駅務業務の民間への委託の拡大など人件費のさらなる効率化を進めるとともに、経費全般について節減に努めるなど、経営基盤の強化を図ります。

(3) 新規・拡充事項

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成27年度 予定額	平成28年度 予定額
1	名城線・名港線可動式ホーム柵の整備	可動式ホーム柵の設置に向けた 定位置停止等のための車両改造 30両（5編成）	—	721
2	耐震対策	地下鉄構造物 高架及び地下構造物の柱の補強 1駅及び駅間10区間 など	1,962	1,345
3	浸水対策	地下鉄駅出入口の止水板の改修 8駅20箇所	91	99
4	都心部を巡回するバス路線の魅力向上	平成29年度に予定している都心 ループバスの大須地区への延伸 に向けた準備	—	32
5	市バス路線市域外延伸の社会実験	県営名古屋空港への市バス路線 延伸に関する需要等を調査する ための社会実験を実施	—	1
6	名古屋駅バスターミナルの供用開始に向けた準備	平成29年度からの供用開始に向 けた案内表示等の整備	—	195
7	バス車両の購入	ノンステップバス 35両 (平成28年度末整備率100%)	222	716
8	地下鉄女性専用車両の路線拡大	名城線・名港線 平日の始発～9時 (平成28年7月実施予定)	—	22
9	外国人観光客対応の充実	地下鉄駅へのコンシェルジュの 配置及びタブレット端末の配備 等	—	12
10	地下鉄駅エレベーターの整備	2駅（名古屋駅・丸の内駅）	723	46

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成27年度 予定額	平成28年度 予定額
11	千種駅施設の整備	駅長室及びトイレの整備等	—	127
12	クレジットカード一体型マナカによるオートチャージの導入	導入に向けた駅務機器の改修 (平成29年度導入予定)	—	204
13	「中学3年生応援きっぷ」の交付	市内在住または市内在学の中学3年生に市バス・地下鉄の無料乗車券(一日乗車券)を交付	—	4
14	伏見駅における駅ナカビジネスの展開	駅構内における魅力的な商業エリアを整備 平成28年度 設計 平成29～31年度 工事	5	30
15	地下鉄駅バスターミナルの有効活用の調査	地下鉄駅バスターミナルでのビル建設について、民間需要等を調査	—	3
16	市バスの管理委託の拡大	浄心営業所楠分所 委託車両数15両増加	—	215
		平成29年度に予定している市バスの管理委託の拡大に向けた準備	—	200
17	地下鉄駅務業務の委託の拡大	東山線5駅	—	327
18	自動車運送事業経営基盤強化出資金	市バス事業の経営基盤強化の取り組みを支援するため、高速度鉄道事業会計から出資	—	500

(4) 使用料・手数料改定等

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	実施時期	改定見込額
1	精神障害者への割引料金の適用	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の趣旨をふまえ、身体障害者・知的障害者と同様に、精神障害者に割引料金を適用 [現行普通料金] 市バス 210円 地下鉄(1区) 200円 [割引料金適用後] 市バス 100円 地下鉄(1区) 100円 など (参考) 福祉特別乗車券の利用については、引き続き無料	28年4月	△ 429

(5) 平成28年度自動車運送事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成28年度 予 定 額	平成27年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	運 輸 収 益	18,063	17,954	109
	一般会計補助金	3,421	3,389	32
	そ の 他	3,792	3,627	165
	計 (A)	25,276	24,970	306
支 出	人 件 費	12,446	12,386	60
	経 費	10,077	9,623	454
	減 価 償 却 費	949	954	△ 5
	そ の 他	457	560	△ 103
	計 (B)	23,929	23,523	406
A - B		1,347	1,447	△ 100
累積欠損金 (△)		△ 39,162	△ 41,624	2,462

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成28年度 予 定 額	平成27年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	企 業 債	1,347	870	477
	出 資 金	1,000	—	1,000
	そ の 他	32	81	△ 49
	計 (A)	2,379	951	1,428
支 出	建 設 改 良 費	1,401	975	426
	企 業 債 償 還 金	928	1,445	△ 517
	そ の 他	2,010	932	1,078
	計 (B)	4,339	3,352	987
A - B		△ 1,960	△ 2,401	441
資金不足額 (△)		△ 502	△ 2,357	1,855

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で措置します。

(6) 平成28年度高速度鉄道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成28年度 予 定 額	平成27年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	運 輸 収 益	79,328	77,957	1,371
	一般会計補助金	8,812	5,922	2,890
	そ の 他	11,656	12,256	△ 600
	計 (A)	99,796	96,135	3,661
支 出	人 件 費	26,325	26,222	103
	経 費	22,586	20,380	2,206
	減 価 償 却 費	24,168	24,515	△ 347
	そ の 他	14,430	17,279	△ 2,849
	計 (B)	87,509	88,396	△ 887
A - B		12,287	7,739	4,548
累積欠損金 (△)		△ 255,111	△ 270,990	15,879

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成28年度 予 定 額	平成27年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	企 業 債	16,126	16,262	△ 136
	出 資 金	2,066	2,270	△ 204
	そ の 他	3,003	3,707	△ 704
	計 (A)	21,195	22,239	△ 1,044
支 出	建 設 改 良 費	12,209	12,432	△ 223
	企業債償還金	50,025	49,372	653
	そ の 他	510	10	500
	計 (B)	62,744	61,814	930
A - B		△ 41,549	△ 39,575	△ 1,974
実質資金不足額 (△)		△ 235,623	△ 246,539	10,916

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で措置します。